



道路完成の流れを
小学校で出前講座

オリコンサル

オリエンタルコンサル
タツは、CSR（企業の
社会的責任）活動の一

環として、福岡県筑紫野

市にある市立原田小学校
で出前授業を行った。九

州支店に勤務する社員が
同小を訪れ、4年生の児

童50人を前に「道路がで
きるまで」をテーマにイ

ンフラ整備の流れや建設
コンサルタントの役割を

紹介した。活動に参加し
た九州支店技術部の佐藤

睦美さんは「出前授業を
通じて自分の仕事の価値

をあらため実感すること
ができた」と話している。

同社は、社員の働く意
欲を高める取り組みとし

て「情熱とやりがいプロ
ジェクト」を進めている。

働き方の改革と併せ、仕
事の魅力ややりがいを社

外に伝える活動も展開。
その一環として1月29日

に九州支店の社員が地元
の小学校を訪れ、授業を
行った（写真）。

参加した児童からは
「道路や橋などの大切さ
がよく分かった」「コン

サルタントの仕事は面白
そう」といった感想が寄

せられたという。今後も
全国で出前授業を行い、

コンサルタントの役割や
国土づくりの大切さなど

を、子どもたちに伝えて
いく考えだ。



小学生対象に出前講座

オリエンタルコンサルタンツ

インフラ整備の意義など伝える

オリエンタルコンサルタンツはこのほど、福岡県筑紫野市の原田小学校4年生50人を対象に、「インフラ整備の意義・コンサルタントの役割」につ

いて出前講座を実施した
＝写真＝

同社は、13年12月に全社的な取り組みとして、「情熱とやりがいプロジェクト」を立ち上げ、社員を目的に、経営施策を総合的に実践している。その施策の一つである、「仕事そのものが社会貢献」というコンサルタント企業の魅力、やりがいを伝えていく」こととして、出前講座を実施した。出前講座では、具体的な道路が完成するまでの調査、設計の流れについて、写真等を用いて分かりやすく伝えた。出前講座を通して、道路や橋などのインフラが、身近なくらしの中にあることを理解してもらった。児童からは、「道路や橋などのインフラの大切さがよく分かった」「コンサルタントという仕事はおもしろそう」などの感想が寄せられた。今後も、全国各地で出前講座を開催し、社会資本整備の意義やコンサルタントの役割の理解促進に向けた取り組みを進めていく。